

2018年5月11日日本板硝子株式会社

## 2018 年 3 月期 通期連結決算報告

(2017年4月1日~2018年3月31日)

- 2018 年 3 月期は、営業利益 5 期連続増益。税引前利益前年比 50%増の 222 億円
- 計画通り3桁のフリー・キャッシュ・フロー達成
- 業績改善を踏まえ復配
- 2019 年 3 月期は、営業利益 6 期連続増益。最終利益は 140 億円へ増益予想
- MTP フェーズ 2 の初年度は堅調なスタート。2 年度は「Shift to "VA + Growth"」を方針に アクション加速
- 2018年3月期は、営業利益5期連続増益。税引前利益前年比50%増の222億円
- ⊙ グループ売上高は6,039 億円で、前年より増加(前年5,808 億円)
- 無形資産償却前営業利益は、欧州市場の好調、高機能ガラス事業における業績改善、 生産性の改善等により、377 億円に増加(前年331 億円)

	売上高		無形資産償却前営業利益	
	FY18	FY17	FY18	FY17
建築用ガラス事業	2,417 億円	2,377 億円	262 億円	270 億円
自動車用ガラス事業	3,127 億円	2,966 億円	143 億円	127 億円
高機能ガラス事業	484 億円	461 億円	54 億円	18 億円

#### フリー・キャッシュ・フローは、計画通り3桁達成

○ 好調な業績、保有資産の見直し、運転資本の削減等により、3 桁のフリー・キャッシュ・フローを達成

#### 業績改善を踏まえ復配

○ 業績の十分な改善を受け、期末普通株配当 20 円/株の実施を決定

#### 2019 年 3 月期は、営業利益 6 期連続増益。 最終利益は 140 億円へ増益予想

○ 売上高成長、営業利益 6 期連続増益。最終利益増益へ

# MTP フェーズ 2 の初年度は堅調なスタート。 2 年度は「Shift to "VA + Growth"」を方針にアクション加速

- 3つの取り組み:「基盤事業の収益力強化」、「成長事業の拡大」、「新規事業の育成」
  - コーティング製品生産用設備2ライン増設投資
  - ビジネス・イノベーション・センター (BIC) 設置により新規事業育成加速
- ESG (環境・社会・ガバナンス) への取り組み:持続的成長を支える枠組み



#### <2018年3月期通期 連結決算説明資料より抜粋>

### 連結損益計算書



	<u>2017年3月期</u>	2018年3月期
(億円)		
売上高	5,808	6,039
無形資産償却前営業利益	331	377
償却費 *	(32)	(20)
営業利益	299	357
個別開示項目	29	(13)
金融費用(純額)	(191)	(146)
持分法による投資損益	11	24
税引前利益	148	222
法人所得税	(75)	(47)
米国連邦法人税率の変更に伴う調整額	_	(96)
当期利益	73	79
親会社の所有者に帰属する当期利益	56	61
EBITDA	621	662

## \* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却 営業利益の改善が進展

2018年5月11日 2018年3月期通期決算報告

### 2019年3月期連結業績予想



	<b>2018年3月期</b>	2019年3月期
(億円)	<u>実績</u>	<u>見通し</u>
売上高	6,039	6,300
無形資産償却前営業利益	377	430
償却費*	(20)	(20)
営業利益	357	410
個別開示項目	(13)	(70)
金融費用(純額)	(146)	(130)
持分法による投資利益	24	30
税引前利益	222	240
当期利益	79	160
親会社の所有者に帰属する当期利益	61	140

<sup>\*</sup> ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

#### 売上高成長。6期連続で営業利益拡大、当期利益増益へ

2018年5月11日 2018年3月期通期決算報告

決算関係問い合わせ先:

● IR部: 03-5443-0100

報道関係問い合わせ先:

● 広報部: 03-5443-9477